

平成 27 年 12 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社フォーサイド
代 表 者 名 代表取締役 假屋 勝
(JASDAQ・コード 2330)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 飯田 潔
電 話 0 3 - 6 2 6 2 - 1 0 5 6

(開示事項の変更) 新株式発行等に関する資金使途変更のお知らせ

当社は、平成27年3月9日付「第三者割当てにより発行される第1回無担保転換社債型新株予約権付社債及び第6回新株予約権の募集に関するお知らせ」において開示いたしました「調達する資金の具体的な使途」（以下、「資金使途」といいます。）について、下記のとおり変更することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 変更理由

当社は、平成 27 年 3 月 9 日付「第三者割当てにより発行される第1回無担保転換社債型新株予約権付社債及び第6回新株予約権の募集に関するお知らせ」にて開示いたしましたとおり、第三者割当増資による調達資金を、新人漫画家の支援・育成のための投稿型“漫画”電子書籍出版・販売プラットフォーム「モビぶっくインディーズ」（以下、「漫画”電子書籍出版・販売プラットフォーム」といいます。）の初期開発及び運用費に充当する予定でございました。

しかしながら、“漫画”電子書籍出版・販売プラットフォームは平成 27 年年 7 月よりサービスを開始したものの、会員の獲得については伸び悩み、当初計画に対して低調のまま推移しております。売上獲得の為、イベント協賛等の施策を講じましたがその効果は小さく、現状において効果的な集客手段が確立できておりません。

“漫画”電子書籍出版・販売プラットフォームの採算化にはまだ時間が掛かる見込みである一方、5期連続の営業損失並びに当期純損失を計上している当社にとって、早期の黒字化は最も優先すべき課題であります。そのため“漫画”電子書籍出版・販売プラットフォームに投資する予定であった資金を別の事業に投資し、それにより獲得した資金を“漫画”電子書籍出版・販売プラットフォームに再投資するため、当社は、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の資金使途及び支出予定時期に関して当初の計画を変更することといたしました。

2. 変更の内容

資金使途の変更内容は以下のとおりであります。（変更箇所は____で示しております。）

なお、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債（以下、「本新株予約権付社債」といいます。）は、平成 27 年 12 月 28 日時点で 600 百万円のうち 400 百万円が行使されており、第6回新株予約権（以下、「本新株予約権」といいます。）は、平成 27 年 12 月 28 日時点で行使されておりません。

<変更前>

本新株予約権付社債及び本新株予約権

	具体的な用途	金額（百万円）	支出予定時期
①	“漫画”電子書籍出版・販売プラットフォームの初期開発	<u>218</u>	平成27年4月から <u>平成27年9月まで</u>
	内訳 本新株予約権付社債による充当額	(218)	
	“漫画”電子書籍出版・販売プラットフォームの運用費	<u>309</u>	平成27年10月から 平成28年9月まで
	内訳 本新株予約権付社債による充当額	(309)	
②	M&A、業務提携の推進	<u>400</u>	平成27年4月から 平成29年12月まで
	内訳 本新株予約権付社債による充当額	(73)	
	本新株予約権による充当額	(327)	
③	その他運転資金	73	平成27年10月から 平成28年3月まで
	内訳 本新株予約権による充当額	(73)	

※調達資金を実際に支出するまでは、資産の保全と調達金利5%の負担を軽減する目的とし、定期預金や信頼性の高い取引先への貸付等にて運用していく予定であります。

<変更後>

本新株予約権付社債及び本新株予約権

	具体的な用途	金額（百万円）	支出予定時期
①	“漫画”電子書籍出版・販売プラットフォームの初期開発	<u>23</u>	平成27年4月から <u>平成27年12月まで</u>
	内訳 本新株予約権付社債による充当額	(23)	
	“漫画”電子書籍出版・販売プラットフォームの運用費	<u>34</u>	平成27年10月から 平成28年9月まで
	内訳 本新株予約権付社債による充当額	(34)	
②	M&A、業務提携の推進	<u>550</u>	平成27年4月から 平成29年12月まで
	内訳 本新株予約権付社債による充当額	(223)	
	本新株予約権による充当額	(327)	

③	投資銀行部の運用資金	100	平成 28 年 1 月から 平成 28 年 3 月まで
	内訳 本新株予約権付社債による充当額	(100)	
④	投資用不動産の購入	150	平成 27 年 12 月から 平成 28 年 3 月まで
	内訳 本新株予約権付社債による充当額	(150)	
⑤	連結子会社の事業資金	70	平成 28 年 1 月から 平成 29 年 12 月まで
	内訳 本新株予約権付社債による充当額	(70)	
⑥	その他運転資金	73	平成 27 年 10 月から 平成 28 年 3 月まで
	内訳 本新株予約権による充当額	(73)	

※調達資金を実際に支出するまでは、資産の保全と調達金利 5%の負担を軽減する目的とし、定期預金や信頼性の高い取引先への貸付等にて運用していく予定であります。

※計画していた調達額が減少した場合には、②M&A、業務提携の推進の計画・手法について再検討を行います。

“漫画”電子書籍出版・販売プラットフォームの初期開発については、当初自社にて取得する予定であったサーバー関連のコストを業務の効率化やコスト削減を勘案し外注化したことより、当初予定よりも初期の支出額を削減いたしました。また、前述の通り収益面においては低調であり、当初計画通りに推し進めていくことは得策ではないと判断し、追加の投資については集客手段が確立できるまで必要最低限に留める方針といたしました。これにより 195 百万円を他の資金使途に充当いたします。

“漫画”電子書籍出版・販売プラットフォームの運用費については、売上の低迷に伴い、売上に連動する変動費の発生が結果として抑えられ、また、集客手段が確立できていないことから、当初予定していたプロモーション広告やプラットフォームの改修に係る支出を抑制せざるを得ない状況であります。これにより 275 百万円を他の資金使途に充当いたします。

M&A、業務提携の推進 550 百万円については、当初の資金使途として 400 百万円を予定しておりましたが、余剰となった“漫画”電子書籍出版・販売プラットフォームへの投資予定金額の一部を当社既存事業とのシナジー効果の高い会社の株式を取得し、連結子会社化することに充当します。現在、候補となる企業 1 社より情報開示を受け、検討を進めている状況です。候補企業との資本・業務提携、M&A 交渉が不調に終わった場合、充当を予定していた資金は、当社既存事業の事業拡大のために活用いたします。

投資銀行部の運用資金 100 百万円については、平成 27 年 1 月 9 日付「新たな事業の開始及び子会社設立に関するお知らせ」にて開示いたしました投資銀行部における純投資によるキャピタルゲイン等の収益確保の為に資金に充当いたします。なお、当該運用資金の支出は初期のみであり、以降は確保した収益の範囲で投資運用いたします。

投資用不動産の購入 150 百万円については、平成 27 年 10 月 23 日付「新たな事業の開始及び子会社設立に関するお知らせ」にて開示いたしました不動産事業における投資用不動産の購入資金として充当いたします。具体的には、100 百万円から 150 百万円の賃貸用不動産 1 棟の購入を予定しております。

連結子会社の事業資金 70 百万円については、平成 27 年 11 月 12 日付「株式会社クレディエンスの株式の取得（子会社化）及び新たな事業の開始に関するお知らせ」にて開示いたしました子会社である株式会社クレディエンスに対してグループ間貸付をし、貸金業である株式会社クレディエンスは営業貸付金として消費者に貸出を行います。

以上